

南丹教育局 NEWS

平成 30 年 12 月 18 日発行 第 216 号

—平成 30 年度 南丹地区社会教育委員連絡協議会視察研修会—

廣瀬自治会長の概要説明

朝霧が立ちこめる 11 月 29 日（木）、南丹地区社会教育委員連絡協議会の視察研修会を開催しました。

昨年度末にリニューアルされた亀岡市七谷川野外活動センターと、平成 29 年 4 月に義務教育学校として開校した亀岡市立亀岡川東学園を視察し、施設概要や特色ある教育課程の説明を聞かせていただき、社会教育委員として見識を深めました。

七谷川野外活動センターは、亀岡市が昭和 57 年に生涯学習の場として開設されました。千歳町自治会が指定管理者としてまちづくりに位置づけるとともに、地域の強みを生かした運営によって、利用者数は年々増加し、昨年度は約 14,000 人が利用しました。

亀岡市七谷川 野外活動 センター



野外活動センター説明

ツリーハウスの説明

午後からは、亀岡市立亀岡川東学園に移動し、府内唯一の義務教育学校として平成 29 年 4 月に開設されるまでの経過や、新しい時代を積極的に切り開いていく児童生徒の育成、『地域とともに歩む学校』をめざ

して大切にされていること、英語教育など特色ある教育課程の編成などについて説明を受けました。その後、機能的な設計に基づいて建築された設備の説明を受けながら校舎を巡り、前期課程の教室で授業参観もさせていただきました。

視察後は、グループに分かれて活発に施設視察の感想交流や各市町の実践交流を行いました。

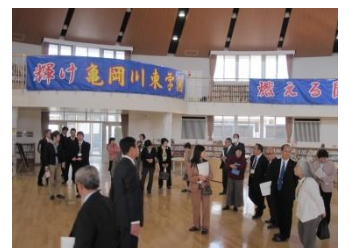
【参加者からの感想】

- 千歳町のまちづくりは、地域あげての取組ですばらしい内容でした。高齢化の中で、子どもから老人までが生き生きと生活されている様子を聞いて、リーダーの方がおられるのも力強いと思いました。七谷川の自然を活かしたとてもよい施設で、他事業で使用させていただきたいと思いました。
- 義務教育学校という新しい制度の学校を見学させていただき、大変参考になりました。まだ始めて 2 年目で成果はこれからとの話でした。これからの取組にも期待し、社会教育委員として何らかの形で関わることができればと思います。
- 意見交流では「主体性」をキーワードに話し合いがはずみました。今後は、子どもも大人も主体性をもって取り組めるように、社会教育委員としてできることを考えていきたいです。

中野会長のあいさつ



亀岡市立 亀岡川東学園



教育課程の説明

絆空間の見学